

埼玉佛教

令和5年4月 第234号

令和5年4月24日 発行
 No.234
 〒330-0063
 さいたま市浦和区高砂4-13-18
 一般財団法人 埼玉県佛教会
 電話 (048) 861-2138
 FAX (048) 864-6649
 発行人 倉持 秀裕
<http://saibutu.net>
 印刷所 関東図書株式会社



令和4年度 第1回臨時評議員会

令和5年度事業計画・予算決まる	2
・各委員会	2
・第2回代議員会議	2
・第2回理事会	2
・第1回臨時評議員会	2
「埼玉県共同募金会」	2
歳末助け合い募金協力	2
▼令和5年度事業計画	3
▼令和5年度予算	5
・出欠一覧	6
・第13回埼玉佛教文化講座	7
・令和5年新年懇親会	8
地区仏教会だより	
▼羽生市・行田市佛教会	9
▼川越市佛教会	9
▼本庄市佛教会	10
トピックス	
▽埼玉県佛教保育協会	
「第38回埼玉県佛教幼児画展」	11
計報	12
事務局日誌	12
編集後記	12

令和5年度、 事業計画・予算決まる

令和5年度の事業計画・予算が各委員会、代議員会議、理事会、評議員会で審議され、決定された。各会議は埼玉会館において開催された。（3頁から掲載）

各委員会

2月24日午前に総務委員会（山口正純委員長）、午後には組織委員会（馬場知行委員長）、



3月3日午前に教化委員会（河野亮玄委員長）、午後には財務委員会（井倉賢照委員長）が開催され、それぞれの活動方針が確認された。

第2回代議員会議

3月17日午前10時30分から令和4年度第2回代議員会議が開催された。議長に土橋元孝代議員（北秩父）が選出された。出欠一覧は5頁。



第2回理事会

3月17日午後1時から令和4年度第2回理事会在が開催された。出欠一覧は5頁。



第1回臨時評議員会

3月29日午後2時から令和4年度臨時評議員会が開催された。議長に備前島賢光評議員が選出された。代議員会議、理事会か

ら上程された事業計画案、予算案が協議され、別記の通り承認された。出欠一覧は5頁。

「埼玉県共同募金会」 歳末助け合い募金協力

令和5年1月18日（水）、倉持秀裕会長から埼玉県共同募金会へ歳末助け合い募金60万円を手渡した。内50万円を更生保護法人「清心寮」に指定寄附を行い、10万円を共同募金会へ寄付した。



一般財団法人埼玉県佛教会 令和5年度事業計画

基本方針

埼玉県内寺院教会の緊密な連携のもと、県下佛教活動の推進、発展に努め、もって道心の高揚と教化の促進を図り、社会の浄化と佛教文化の向上に寄与するため、次の諸事業を行う。

事業計画

○総務

- 1 第44回埼玉県佛教徒大会の開催（主管 北部地区・調整中）
期日：未定
- 2 人権教育並びに「埼玉同宗連」との連携
 - ①「埼玉同宗連」主催研修会・現地学習会への参加
 - ②部落解放同盟埼玉県連合会主催「人権フォーラム」への参加
期日：令和5年11月10日 会場：東松山市民文化センター
 - ③人権教育・啓発推進埼玉県実行委員会への協力
（会長に倉持秀裕当会会長が就任）
- 3 佛教徒募金、歳末助け合い運動の実施
 - ①佛教徒募金（善意銀行・歳末助け合い運動寄付）
 - ②共同募金会へ歳末助け合い運動寄付（佛教徒募金より）

○財務

- 1 会費納入と未納整理
会費納入未納地区・会員への呼びかけ
- 2 埼玉会館の管理運営
 - ①貸店舗（2社）・貸事務所（2団体、2社）・駐車場（月極、時間貸）の管理運営
 - ②会議室（埼玉県庁、埼玉弁護士会ほか）の管理運営ならびに利用促進

（次頁に続く）

○教 化

1 第73回埼玉県各流讃佛歌奉詠大会の開催

期日：令和5年9月14日（木）

会場：埼玉会館「大ホール」

2 第14回埼玉佛仏教文化講座の開催

檀信徒並びに一般に向けた仏教文化等に関する講座の開催

3 更生保護事業の推進・助成（清心寮）

①更生保護法人「清心寮」へ助成（80万円）

②法務省「社会を明るくする運動（犯罪防止・更生保護啓発活動、7月強化月間）」への協力

4 宗教法人研修会への参加推進

宗教法人研修会（埼玉県総務部学事課・埼玉県宗教連盟共催）への協力、参加推進
・研修会会場（さいたま会場）として埼玉会館を提供

5 機関紙『埼玉佛教』発行等の広報活動

①機関紙『埼玉佛教』年4回発行

②ホームページの運営（<http://www.saibutu.net>）

○組 織

1 休眠地区対策

休眠地区の再建、組織化を目指す

2 組織の強化と全一仏教意識の高揚推進

3 県佛青及び県佛保の育成並びに全青協への助成

各団体に助成金

□新社会問題への対応

○新型コロナウイルスからの復帰対策

□善意銀行

義捐金及び仏教教化事業への助成

①義捐金（全日本仏教会へ寄託）

②全日本仏教会 大蔵経テキストデータベース事業への協力

□埼玉県ならびに埼玉県警察本部との連携

埼玉県ならびに埼玉県警察本部との協同活動

『交通安全運動の推進』、『振り込め詐欺防止』、『寺院窃盗対策』等

一般財団法人埼玉県佛教会 令和5年度 予算 (単位:円)

科 目	公益事業	法人会計	収益事業	5年度合計	4年度合計	増減	備 考	
	【公益目的】	【一般会計】	【特別会計】					
収 入	会 費 収 入		13,040,000		13,040,000	13,040,000	0	1ヵ寺8,000円 1630ヵ寺
	佛 教 徒 募 金 収 入		3,040,000		3,040,000	3,040,000	0	目標額1ヵ寺2,000円 1520ヵ寺
	奉 詠 大 会 収 入	1,000,000			1,000,000	1,500,000	△500,000	灯明料一人2,000円
	利 息 収 入		10,000		10,000	10,000	0	預金利子
	賛 助 金 収 入		1,600,000		1,600,000	1,600,000	0	灯明料、年費広告、協賛広告、関連団体協賛金
	雑 収 入		60,000		60,000	60,000	0	印刷代・コピー代(会議室利用者)
	貸 事 務 所 収 入			8,500,000	8,500,000	8,500,000	0	更新料含む
	駐 車 場 収 入			4,600,000	4,600,000	4,600,000	0	更新料含む
	施 設 利 用 料 収 入			2,200,000	2,200,000	3,000,000	△800,000	埼玉佛会館会議室利用料
	代 理 店 収 入			100,000	100,000	100,000	0	第一生命・アフラック・東京海上日動
前 期 繰 越		12,000,000		12,000,000	15,000,000	△3,000,000	0	
経常収益合計	1,000,000	29,750,000	15,400,000	46,150,000	50,450,000	△4,300,000	0	
支 出	奉 詠 大 会 費	1,900,000			1,900,000	2,600,000	△700,000	
	県 佛 大 会 費	1,200,000			1,200,000	1,200,000	0	
	仏 教 文 化 講 座 費	600,000			600,000	600,000	0	
	善 意 銀 行		600,000		600,000	600,000	0	
	広 報 費	1,600,000			1,600,000	1,600,000	0	[埼玉佛教]4回発行、ホームページ、関連団体広告
	育 成 費	450,000			450,000	450,000	0	埼玉佛青・埼玉佛保・日仏婦
	全日本仏教会寄附金	650,000			650,000	650,000	0	
	「埼玉宗連」寄附金	350,000			350,000	350,000	0	
	「埼玉同宗連」寄附金	77,000			77,000	77,000	0	
	地区教化活動助成金	1,800,000			1,800,000	1,800,000	0	地域行事助成
	埼玉県教誨師会寄附金	100,000			100,000	100,000	0	
	更生保護法人「清心寮」寄附金	300,000			300,000	300,000	0	
	歳末助け合い運動寄附金	600,000			600,000	600,000	0	共同募金会〔清心寮〕へ指定寄附金50万円)
	全国青少年教化協議会寄附金	100,000			100,000	100,000	0	
	そ の 他 寄 附 金	55,000			55,000	55,000	0	県交通安全対策協議会、シャンテ国際ボランティア会、さいたま緑のトラスト協会、彩の国コミュニティ協議会
	事業費計	9,782,000	600,000		10,382,000	11,082,000	△700,000	
	給 料 ・ 手 当	3,000,000		4,500,000	7,500,000	6,400,000	1,100,000	4名分
	顧 問 料	35,000	105,000	560,000	700,000	700,000	0	税理士顧問料・司法書士報酬
	管 理 費	85,000	255,000	1,360,000	1,700,000	1,700,000	0	エレベーター管理・塵芥・モップ交換・防犯警備
	賃 金 ・ 報 酬	50,000		50,000	100,000	100,000	0	アルバイト賃金
	租 税 公 課			6,000,000	6,000,000	6,000,000	0	固定資産税・謄本・法人税・消費税
	保 険 料	27,500	82,500	440,000	550,000	500,000	50,000	火災保険・傷害保険・あんしん財団
	福 利 厚 生 費			1,000,000	1,000,000	700,000	300,000	社会保険料・飲料・残業食事手当・常備薬
旅 費	480,000	90,000	30,000	600,000	650,000	△50,000	職員旅費	
会 議 費		720,000	480,000	1,200,000	1,200,000	0	評議員会・理事会・代議員会議・委員会諸費用	
報 償 費 ・ 旅 費		840,000	560,000	1,400,000	1,400,000	0	役員旅費	
光 熱 水 費	1,500,000		1,500,000	3,000,000	2,200,000	800,000	電気・水道	
印 刷 費	180,000	12,000	8,000	200,000	300,000	△100,000	名刺・封筒	
書 籍 費			100,000	100,000	150,000	△50,000	新聞雑誌購読料・書籍購入費	
備 品 費		150,000	150,000	300,000	300,000	0	会館備品	
消 耗 品 費		350,000	350,000	700,000	850,000	△150,000	コピー用紙・文具・カウンター料	
通 信 費	42,500	127,500	680,000	850,000	800,000	50,000	電話・郵便料・運賃・ジェイコム・葉書	
賃 借 料	440,000	110,000	550,000	1,100,000	1,000,000	100,000	事務機器リース料	
研 修 交 流 費		250,000		250,000	250,000	0	他団体との交流・研修	
交 際 費		200,000		200,000	200,000	0		
中 退 共 掛 金		250,000	250,000	500,000	500,000	0	職員退職金積立	
慶 弔 費		150,000		150,000	150,000	0		
修 理 費		1,000,000		1,000,000	1,000,000	0		
雑 費		50,000		50,000	50,000	0	送金料、残高証明他	
管理費計	5,840,000	4,742,000	18,568,000	29,150,000	27,100,000	2,050,000		
積 立 金		3,000,000		3,000,000	5,000,000	△2,000,000	修繕積立	
予 備 費		3,618,000		3,618,000	7,268,000	△3,650,000	0	
経常費用合計	15,622,000	11,960,000	18,568,000	46,150,000	50,450,000	△4,300,000	0	

《 出 欠 一 覧 》 (○出席者、△委任状、敬称略・順不同)

第2回代議員会議

令和5年3月17日(金) 10:30~・埼玉会館1階多目的ホール

会 長	○ 倉持 秀裕 [蕨・戸田/三学院]	△ 桑原 恒久 [川越/蓮馨寺]
副 会 長	○ 加藤 玄静 [本庄/城立寺]	
専 務 理 事	○ 深谷 雅良 [入間東部/大應寺]	
常 務 理 事	○ 山口 正純 [川口/密蔵院]	○ 河野 亮玄 [浦和/東泉寺]
	○ 馬場 知行 [鴻巣/宝持寺]	○ 井倉 賢照 [鷲宮/寿徳寺]
監 事	△ 平川 忠雄 [吉見/観音寺]	○ 梅澤 清真 [加須/徳性寺]
	△ 鎌田 観良 [朝霞/地福寺]	
代 議 員	△ 河野 亮玄 [浦和/東泉寺]	△ 鷲山 真哉 [大宮/多聞院]
	△ 佐々木 章友 [与野/妙行寺]	△ 片野 真省 [川口/吉祥院]
	△ 岡田 正信 [鴻巣/雲祥寺]	△ 小澤 泰明 [上尾/馬蹄寺]
	○ 御嶽 隆英 [蕨・戸田/観音寺]	○ 星野 令光 [朝霞/東福寺]
	△ 島田 克裕 [伊奈/願成寺]	○ 江熊 隆徳 [吹上/龍光寺]
	△ 石村 晃龍 [川越/大蓮寺]	○ 田中 政樹 [所沢/金乗院]
	△ 大杉 芳功 [飯能/興徳寺]	△ 西村 宗洋 [狭山[事務局]/慈眼寺]
	△ 栗野 亮淳 [入間/蓮花院]	△ 横山 亮英 [入間東部/來迎寺]
	△ 安田 哲也 [坂戸・鶴ヶ島/長福寺]	○ 渋谷 辨洋 [越生・毛呂山/延命寺]
	○ 村井 惇匡 [東松山・滑川/妙昌寺]	△ 志治 孝昭 [小川連合/輪禅寺]
	△ 佐伯 頼栄 [都幾川/慈光寺]	○ 金子 宗和 [川島/長福寺]
	△ 村原 栄行 [吉見/息障院]	○ 鈴関 純樹 [鳩山・玉川/眞光寺]
	△ 柴田 幸保 [秩父/慈眼寺]	△ 朝比奈 哲雄 [小鹿野/正永寺]
	○ 土橋 元孝 [北秩父/大林寺]	△ 池上 照幸 [本庄/慈恩寺]
	△ 百田 成良 [児玉/大光普照寺]	△ 宮崎 憲田 [熊谷/實相院]
	△ 増田 博道 [深谷/大林寺]	△ 島田 恵晨 [荒南/西明寺]
	△ 道孝 道孝 [妻沼/大龍寺]	△ 山田 正光 [寄居・花園・川本/善法寺]
	○ 中村 重継 [行田/眞観寺]	△ 野口 洋明 [加須/如来寺]
	○ 丹下 賢一 [羽生/岩松寺]	△ 大久保 俊雄 [岩槻/宝国寺]
	○ 小林 秀樹 [春日部/眞蔵院]	△ 厩溪 文裕 [草加/淨捷寺]
	○ 渡邊 満明 [越谷/報土院]	△ 腰塚 俊裕 [久喜/常楽寺]
	△ 田口 峰道 [八潮/長安寺]	○ 島崎 英種 [菖蒲/正眼寺]
	△ 小阪 秀史 [三郷/成就院]	○ 吉井 文隆 [蓮田/長松寺]
	△ 一色 雄信 [幸手/寶持寺]	△ 今野 泰男 [宮代/醫王院]
	△ 矢部 玄道 [白岡/寿栄院]	△ 石垣 正順 [栗橋/深廣寺]
	△ 関根 正孝 [鷲宮/良学院]	△ 江森 祐明 [杉戸/福正院]
	△ 齊藤 淳道 [松伏/靜栖寺]	○ 藤井 壽雄 [吉川/清浄寺]
	△ 白井 宥宝 [庄和/東光院]	
事 務 局	○ 金子 嘉広 (事務局長)・○ 大塚 美紀・○ 福原 精	

【代議員出席17名・委任状37名合計54名/現数55名/[]内は[地区名・寺院名]】

第2回理事会

令和5年3月17日(金) 13:00~・埼玉会館2階東西会議室

会 長	○ 倉持 秀裕 [蕨・戸田/三学院]	△ 桑原 恒久 [川越/蓮馨寺]
副 会 長	○ 加藤 玄静 [本庄/城立寺]	
専 務 理 事	○ 深谷 雅良 [入間東部/大應寺]	
常 務 理 事	○ 山口 正純 [川口/密蔵院]	○ 河野 亮玄 [浦和/東泉寺]
	○ 馬場 知行 [鴻巣/宝持寺]	○ 井倉 賢照 [鷲宮/寿徳寺]
理 事	△ 穂積 容山 [鴻巣/龍昌寺]	○ 眞島 亮悟 [寄居・花園・川本/浄福寺]
	○ 英巖 雪英 [蓮田/保福寺]	△ 津島 英世 [吉川/延命寺]
	○ 鳥崎 英種 [菖蒲/正眼寺]	△ 宮寺 守正 [鳩山・玉川/金澤寺]
	○ 関口 亮樹 [蓮田/慶福寺]	△ 大野 宏文 [本庄/開善寺]
	○ 金剛 清輝 [川越/養壽院]	○ 土橋 元孝 [北秩父/大林寺]
	○ 山田 亮裕 [所沢/佛眼寺]	△ 仁部 前崇 [杉戸/上原寺]
	△ 建部 眞文 [上尾/照誠寺]	○ 鈴木 英秀 [妻沼/花蔵院]
	○ 陶山 憲裕 [朝霞/三光院]	△ 駒井 信亮 [加須/観音寺]
	○ 水上 旭岳 [本庄/正観寺]	
監 事	△ 平川 忠雄 [吉見/観音寺]	○ 梅澤 清真 [加須/徳性寺]
	○ 鎌田 観良 [和光/地福寺]	
事 務 局	○ 金子 嘉広 (事務局長)・○ 大塚 美紀・○ 永堀 優子	

【理事出席18名・欠席7名/現数25名/[]内は[地区名/寺院名]】

第1回臨時評議員会

令和5年3月29日(水) 14:00~・埼玉会館2階東西会議室

評 議 員	△ 石川 法夫 [久喜/善徳寺]	○ 上村 正剛 [岩槻/彌勒密寺]
	○ 大嶋 法道 [岩槻/慈恩寺]	△ 角山 祥隆 [荒南/保安寺]
	△ 馬路 宏樹 [入間/長徳寺]	○ 實淨 龍彦 [川越/栄林寺]
	○ 森田 真隆 [都幾川/全長寺]	△ 吉田 宏哲 [本庄/宥勝寺]
	○ 和氣 昭祐 [上尾/相頓寺]	○ 福島 伸悦 [行田/長光寺]
	○ 江連 俊裕 [川口/錫杖寺]	○ 木村 秀明 [浦和/成就院]
	○ 樋口 円准 [越谷/法光寺]	△ 佐々木 教哲 [岩槻/正蔵院]
	○ 沼田 洋順 [川越/妙昌寺]	○ 備前島 賢光 [妻沼/圓満寺]
会 長	○ 倉持 秀裕 [蕨・戸田/三学院]	
副 会 長	○ 加藤 玄静 [本庄/城立寺]	○ 桑原 恒久 [川越/蓮馨寺]
専 務 理 事	○ 深谷 雅良 [入間東部/大應寺]	
常 務 理 事	○ 山口 正純 [川口/密蔵院]	○ 河野 亮玄 [浦和/東泉寺]
	○ 馬場 知行 [鴻巣/宝持寺]	△ 井倉 賢照 [鷲宮/寿徳寺]
監 事	△ 平川 忠雄 [吉見/観音寺]	○ 梅澤 清真 [加須/徳性寺]
	○ 鎌田 観良 [和光/地福寺]	
事 務 局	○ 金子 嘉広 (事務局長)・○ 大塚 美紀・○ 福原 精	

【評議員出席11名・欠席5名/現数16名/[]内は [地区名・寺院名]】

「第13回埼玉佛敎文化講座」

令和5年2月21日(火)、14時30分から埼玉佛会館、2階会議室で「第13回埼玉佛敎文化講座」を開催した。本講座は令和2年度、3年度は中止となり、3年ぶりに開催された。檀信徒、僧侶の約50名が参加した。講師は日本一の桜の名所吉野山にある



修験道の根本道場・吉野大峯山・総本山金峯山寺第31世管領、全日本仏教会副会長の五條良知師。埼玉青写仏講師・高橋英心師の法螺貝の音色とともに入場された。開会行事では、加藤玄静副会長が開会の言葉を、倉持秀裕会長が主催者あいさつを行った。高福寺住職・萩原裕史師は修験道、山伏の装束で参加、臨場感を演出した。司会は、大塚美紀主事が務めた。

「以下講演内容(一部抜粋)」

ご開祖・役行者えんのぎやうじやは大和の人です。

今から千三百年前、葛城山、大峯山を始め全国の霊山を開山。金峯山にて金剛蔵王権現を感得、それを以て修験道の開創といわれています。

日本最大の秘仏本尊金剛蔵王権現は釈迦如来、千手観音、弥勒菩薩が神の姿に権化しました、純日本生の権化仏です。蔵王権

現のお姿を山桜の木に刻んで、一つを感得し山上に祀って山上蔵王堂。もう一つを吉野山に祀って山下の蔵王堂を建立、これが金峯山寺の始まりとなり、修験道としての成り立ちとなります。蔵王権現は神仏習合の象徴であり、自然が神仏であるという修験道の教えをあらわしています。

役行者が蔵王権現の姿を山桜の木に彫ったことにより、桜が御神木といわれるようになりました。吉野の山桜は参拝に来た人々が蔵王権現への祈りをこめた献木で、吉野山の桜は自然交配で種子から育つため、白系、赤系、青系など多種多様な花色が存在します。まさに参拝したひとり一人の思いによって成り立っているといえます。現在、その数は三万本にも達します。国土の七割以上を山が占める日本において、古来、山は祖霊や神さま仏さま、自分を超えた



聖なるものの在まじり世界であると考え、一般には入山することは無く畏怖の念を抱いて仰ぎ見ていたのです。そしてその山や大自然の世界に入るといことは、自分自身が聖なるものに触れるということであり、その行動や営み自体が宗教的体験であって修験道の根本となっている日本人の宗教観であると思うのです。その日本古来の山岳信仰に、神道や外来の仏教、道教、陰陽道などが習合して成立した我が

国固有の民俗宗教が修験道で、山伏の宗教なのです。

深山幽谷の中、大自然に抱かれ、聖なるものにふれ、生かされていることに気づく、その中で心身は研ぎ澄まされ、自己の力を知り、聖なる力、超自然的な神仏の力（験力）を得る者が山伏であり、修験者とも呼ばれているのです。

吉野から熊野までの延べ170kmを毎日12時間ずつの行程で歩く大峯奥駈修行。大自然



そのものに神仏がおられて、自然そのものがご本尊です。「お山に入らせていただく」と感ずる。そういう心の在り様が大事なのです。

また、「懺悔懺悔、六根清浄」という掛念仏を唱えますが、懺悔とは人間が犯したいろいろな罪や間違いを神仏の前でひれ伏して清めていただくこと。そして一度死んで生まれ変わるという「擬死再生」を行の中で体験する。理屈でなく、命がけの修行の中で自分の五体と五感を通して、実際の感覚を体得する極めて実践的な宗教なのが修験道です。

役行者の姿勢「身の苦に依つて、こころ乱れざれば、証果自ずから至る」自ら修して、自らその験しを会得する。超自然的な力や神仏の加護を獲得するためではなく、自らの身体で厳しい修行を修めることにより、その精神も社会に貢献していこう

とするものです。

役行者は、まだ仏教が一般衆生に広がりを見せない時代に、「上求菩薩下化衆生（自身の練成と衆生の救済）」を祈りました。役行者が「上求菩薩下化衆生」を祈っていた時代（疫病が多く流行）に今の時代が似た状況にあり、見返りを求めず他者の安楽を祈る。場所は違えど同じく、時違えどころ同じくともに祈ることが大事なのです。」

最後に、「懺悔懺悔、六根清浄」掛念仏を五條師に続き来場の皆さんで唱え、修験道入門を結んだ。閉会行事では閉会の言葉を教化委員長の河野亮玄常務理事が行い、閉会した。

令和5年新年懇親会

去る、1月18日（水）、ロイヤ



ルパインズホテル浦和に於いて、令和5年新年懇親会が開催された。参加者は32名。

毎年、受章者へ記念品の授与が行われている。今回は上村正剛評議員（第45回正力松太郎賞）、山口正純常務理事（令和4年度春・藍綬褒章《更正保護功労》）に記念品の授与が行われた。

地区仏教会だより

令和四年度羽生市・

行田市佛教会合同研修会

羽生市佛教会
行田市佛教会

羽生市佛教会では、7年前より行田市佛教会と合同で研修を行なっている。本年は羽生市佛教会が主催となり、11月26日（土）に羽生市の富徳寺客殿を会場として研修会を開催した。

新型コロナウイルス感染症の流行により、約3年もの間、様々な活動が自粛され、寺院の教化活動においても中止や延期になっていることが多い。そのため、テーマを「コロナ禍における教化活動」と題し、特定非営利活動法人おてらおやつクラブ理事である福井良應先生をお迎えし、主にお寺に供えられた食料・日用品の配給・援助活動、貧困問

題に関する支援を行っているおてらおやつクラブの活動を中心に、ご講義いただいた。

講師からは、日本での貧困の実態、とくにひとり親家庭では二人に一人が貧困であるのにも関わらず自己責任を感じて助けると言えない風潮があるのとこのことや、おすそわけを希望するひとり親家庭や支援団体へのおてらおやつクラブの活動を伺った。出席者からも活発に質問があ



り、盛会のうちに終了した。

最後に、会場をお貸しいただいた富徳寺様に感謝を申し上げ、研修の報告とする。

（羽生市佛教会事務局）

「成道会」 仏教講座

川越市佛教会

去る令和4年12月3日（土）川越市浄土宗大蓮寺に於いて、川越市佛教会主催の「成道会」仏教講座が開催されました。

13時半からの成道会の法要の後、14時より浄土宗光琳寺 井上広法上人の記念講演が行われました。

演題は、「息抜く力は、生き抜く力」です。参加者はコロナウイルスの感染拡大を考慮して、各寺院3名程度の檀信徒の皆様を菩提寺を通しての受付としました。その結果、50名を超える檀信徒の方に参加していただきました。



講師の井上上人は、テレビ番組「ぶっちゃけ寺」の創設メンバーでもあり、お茶の間で多くの人気を博した方です。

井上上人は、はじめに数日前に有楽町の読売ホールで行われた浄土宗開宗850年を記念する「法然フォーラム」のお話をされました。

その中で法政大学元総長の田中優子氏との対談のお話を紹介されました。田中氏は、江戸時

代に外国から来た人達は

「日本人は皆笑っている。おもしろおかしく日々を過ごしている。日本人は世界で一番愉快な人達だ。」と記述している。

江戸時代は非常に幸せな時代だった。と話されたそうです。

井上上人は、こう問いかけます。今の日本人は幸せでしょうか。

井上上人は、臨床心理学も専攻し、大学で講義も行っています。インターネットで「hasunoha」というサイトを立ち上げて悩み相談を受け付けています。そのサイトには毎日のように「死にたい」という若者の相談が後を絶たないそうです。

では、「死にたい」と訴えている若者は本当に死にたいのか。多くの若者は本当は死にたくはないのだ。

死にたい社会ではなく、どうやって生きて行ったら分からない社会なのだ。どうやって生き

て行ったらわからないから、口から出てくる言葉は、死にたいなのだ。と井上上人はおっしゃいます。

そこで、幸せになるにはどうしたらよいか。

井上上人はイソップ寓話の「3人のレンガ職人」のお話を例に出されて、今こそ「心がけ」「あり方」「ものの見方」を見直さなければならぬのではと話されました。

「当たり前」と見えてしまう眼鏡をはずすのが、お釈迦様の教えである。お釈迦様は物事の見方をおしえてくれたのです。どういふものの見方をすれば「当たり前前の眼鏡」がはずせるか。と上人は話されます。そこから、さらに因果のお話に発展され、最後に、私たちは地球の見方を変えなければ、将来生きていけないのです。というお話でまとめられました。

第30回「仏」のお話を聞く会

本庄市佛教会

令和4年10月8日(土) コロナ禍の為、長らく活動を停止していた「仏」のお話を聞く会ですが、感染対策を行った上で久々に開催することができました。当日は流石にコロナ前よりも人よりが少なく、30名ほどの檀信徒の参加となりましたが、大変有意義な会になったと感じております。

講師をお務め頂きましたのは、福島県いわき市において、東日本大震災より、災害支援活動に尽力をされた阿弥陀寺副住職の馬目一浩師です。大震災の避難所、仮設住宅などで失意のうち暮らされる人々の寄り添いとサポートをいかにされてきたのか。今後起こるであろう大災害に備えて、私達は事前に何を準備しておくべきなのか、といっ

た話をプロジェクターを使いながら、非常にわかりやすくお話くださいました。

日頃葬送儀礼とご法事のみを行っている我々一僧侶にとつては、非常に有意義で、また本来、衆生済度を役割とするべき大乘の僧侶のありかたを改めて気付かされた思いがいたしました。コロナ禍という別の意味の災害に直面する我々にとつても非常に指針となるお話を聞けたと思います。





ト
ピ
ッ
ク
ス

埼玉県佛教保育協会

第38回埼玉県佛教幼児画展

本年度で38回を迎えた、「埼玉県佛教幼児画展」が令和5年1月14日、15日にさいたま市文化センターの展示室で開催され

ました。主催は埼玉県佛教保育協会（丹羽義昭会長）。来場者は約950名。12園から合計297枚の作品が出展されました。

今回の開催については、新型コロナウイルス感染症予防対策として昨年同様、時間差入場（3部に振り分け）を行いました。が、昨年度まで設けていた人数制限を外したため、ご家族揃って来場していただきました。親子3世代での来場者も多く、笑顔あふれる会場となりました。

本画展は会場設営、当日の運営を参加園の先生が分担して行う自主運営方式の絵画展になっています。出展園児には先生方から賞状と記念品が授与され、賞状をいただく時には、とても嬉しそうで、誇らしげな表情をみせてくれました。保護者の方からは、生まれて初めての賞状



だという喜びの声も聞かれました。そして展示作品とともに記念写真を撮ったりと、会場は和やかな雰囲気にも包まれていました。保護者からは「心が癒されました」「観察力と表現力に驚きました」「大きくなっても絵を描く楽しさを忘れずにいてほしい」などの感想をいただきました。

第37回全国仏教保育埼玉大会

日時 令和6年（2024年）7月25日（木）26日（金）

会場 全体会・分科会・第40回佛教幼児画展（予定）

埼玉会館

懇親会

ロイヤルパインズホテル浦和

皆様のご理解・ご協力のほど、
お願い申し上げます。

訃報

お悔やみ申し上げます。

令和4年 3月

13日 さいたま市妙隆寺(日蓮)

渡辺 観榮 師(77歳)

11月

30日 さいたま市行弘寺(寺門)

川合 佑明 師(82歳)

12月

29日 新座市満行寺(智山)

岡崎 秀一 師(74歳)

令和5年 1月

6日 久喜市高輪寺(智山)

山本 清澄 師(96歳)

元代議員

28日 加須市定泰寺(智山)

山岡 明浩 師(56歳)

2月

13日 行田市龍泉寺(曹洞)

柿沼 仁法 師(81歳)

19日 和光市長照寺(智山)

寺元 邦雄 師(83歳)

事務局日誌

令和5年 1月

5日▼事務局仕事始め

10日▼「解放同盟」県連旗びらき

(ホテルガーデンパレス)

熊谷/金子事務局長・大塚主事

塚主事

13日▼「埼玉保」新年懇親会(浦和・彩湖)

和・彩湖

14日▼「埼玉保」第38回埼玉県佛教保育幼児画展(15日・さいたま市文化センター)

さいたま市文化センター

さいたま市文化センター

1)

16日▼「埼玉連」新年懇親会(浦和・高砂)

和・高砂

17日▼「埼玉保」全国仏教保育埼玉大会第4回実行員会(埼玉会館)

埼玉大会第4回実行員会

(埼玉会館)

18日▼新年懇親会(浦和・ロイヤルパインズホテル)

ヤルパインズホテル)

19日▼「解放同盟」第37回人権啓発研究集会(20日・さいたま市文化センター)

さいたま市文化センター

レイボックホール/金子事務局長、大塚主事、永堀書記)

永堀書記)

掘書記)

24日▼「埼玉青」写仏

「埼玉県警察本部」埼玉県特殊詐欺撲滅官民合同会議(埼玉会館/大塚主事)

議(埼玉会館/大塚主事)

議(埼玉会館/大塚主事)

2月

13日▼「埼玉青」梵字

14日▼令和四年度宗教法人研修会(埼玉会館)

会(埼玉会館)

15日▼「埼玉保」全国仏教保育埼玉大会第5回実行員会(埼玉会館)

埼玉大会第5回実行員会

(埼玉会館)

16日▼令和四年度宗教法人研修会(川越地方庁舎/永堀書記)

会(川越地方庁舎/永堀書記)

書記)

17日▼「埼玉青」写仏

21日▼第13回埼玉佛教文化講座

24日▼総務委員会組織委員会

組織委員会

3月

3日▼教化委員会

財務委員会

15日▼「埼玉保」全国仏教保育

埼玉大会第6回実行員会

(埼玉会館)

17日▼令和4年度第2回代議員会

会

令和4年度第2回理事会

23日▼「埼玉青」写仏

29日▼令和4年度第1回臨時評議員会(埼玉会館)

議員会(埼玉会館)

4月

10日▼「埼玉県宗教連盟」理事会

会

13日▼「埼玉青」写仏

14日▼「埼玉保」理事会・全国仏教保育埼玉大会第7回実行員会(埼玉会館)

実行員会(埼玉会館)

20日▼「埼玉同宗連」役員会

21日▼「埼玉青」執行部会

執行部会

編集後記

WBC。ハラハラドキドキ、映画鑑賞をしているようでした。

次回開催は3年後の2026年。

FIFAワールドカップも開催

の年です。平和になり、世界中

の方が皆で楽しめることを願

います。